



事業目的・概要等

イメージ

背景・目的

・再生可能エネルギーとして新たな地下水利用（地下水熱利用）が進展。また、地盤沈下防止の観点から地下に還元する方式も注目されている。地盤沈下の防止は、用水二法で地域等を定めて地下水採取を規制しているところ。規制地域内では水量が回復しても地下水利用ができず、一方、規制地域外では地盤沈下の継続が見られる。他方、地下水利用後の水を再度地下に還元する場合の水質への影響が懸念され、対策が急務である。

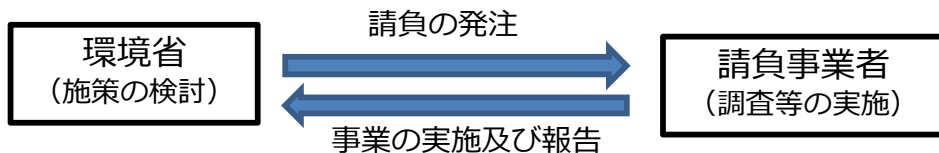
⇒地下水の水量・水質両面における諸課題について一体的に検討し、対策ガイドラインの全国展開、必要に応じ法令改正を含めた検討を行う。

事業概要

- ・地盤沈下シミュレーションによる地下水採取と地盤沈下の現況再現。
- ・用水二法の各条文の制定経緯を踏まえた実態との整合状況分析。
- ・地下水利用後の地下還元に係る地下水質への影響について科学的知見等を収集・整理。

事業スキーム

請負対象：民間団体等



期待される効果

・対策のためのガイドラインの全国展開、必要に応じ法令改正を含めた検討を行い、持続可能な地下水の保全と利用に向けた地域の取組を支援する。

⇒地域における地下水マネジメントの実現により、国民共有の貴重な財産である地下水の価値を向上し、地域活性化にも資する。

現状の課題

- ・地下水流域において用水二法の実態を一体的に検討し、新たな利用が進展しても、地盤沈下を起こさないための管理指標及び目標値の設定手法の検討が必要。
- ・地下水還元利用に伴う、新たな地下水汚染の防止の検討が必要。

事業内容

地下水の水量・水質両面における諸課題について以下の項目を調査・検討する。

- ・地盤沈下シミュレーションによる現況再現
- ・用水二法の実態との整合状況分析
- ・地下水利用後に地下還元した場合の地下水質への影響調査

ガイドラインの全国展開
必要に応じ法令改正を含めた検討

地域における地下水
マネジメントの実現

持続可能な地下水の
保全と利用

地下水・地盤環境に配慮した
再生可能エネルギー利用促進による
低炭素社会の実現